**佐賀市環境マネジメントシステムの運用状況について**

資料１－①

佐賀市では、平成22年度からISO14001に代わる独自システム「佐賀市環境マネジメントシステム」を運用し、「環境都市さが」の実現を目指して、地球温暖化防止等への取り組みを進めています。佐賀市環境マネジメントシステムの平成29年度の実績及び平成30年度の運用状況について報告します。

**◎環境マネジメントシステムの対象**

|  |  |
| --- | --- |
| 職員 | 約3,000人（正規職員、嘱託職員、日々雇用職員） |
| 施設 | 約470施設　（庁舎、清掃工場、浄水場、下水浄化センター、文化施設、病院、その他） |

**１．平成29年度の環境マネジメントシステムの実績について**

**（１）環境基本計画に掲げる施策目標、基本目標横断プロジェクトの取り組み**

平成27年10月に策定した第2次佐賀市環境基本計画に基づく環境施策を計画的に実施するため、佐賀市環境マネジメントシステムのなかで進捗管理を行っています。

平成29年度の環境基本計画に掲げる施策目標、基本目標横断プロジェクトの取り組みについて報告します。

（資料１-②～④を参照）

**（２）全庁共通の取り組み**

市役所業務の環境負荷の低減のために、「コピー用紙購入量の削減」、「職場排出物の抑制」、「施設エネルギー使用量の削減」、「自動車燃料使用量の削減」、「グリーン購入の推進」を全庁で取り組んでいます。

**①コピー用紙購入量の削減**

各課におけるコピー用紙の使用量削減の取り組みや、平成27年度から導入した文書管理システムの運用に伴って購入量は減少傾向にありましたが、平成29年度は前年度比1.3%微増する結果となりました。今後もエコアクション推進手順書に基づき、両面や集約によるコピー、使用済み用紙の裏紙利用などを徹底し使用量の抑制に努めます。



**②職場排出物の抑制**

平成26年度と平成27年度は本庁舎の耐震補強工事に伴う執務室の移転や支所再編による支所執務室等の整理により一時的に職場排出物が増加の傾向にありましたが、平成29年度は例年よりも減少する結果となりました。

今後も引き続き、エコアクション推進手順書に基づき、ごみの減量やごみ分別の徹底に努めます。

**（ⅰ）廃棄物**

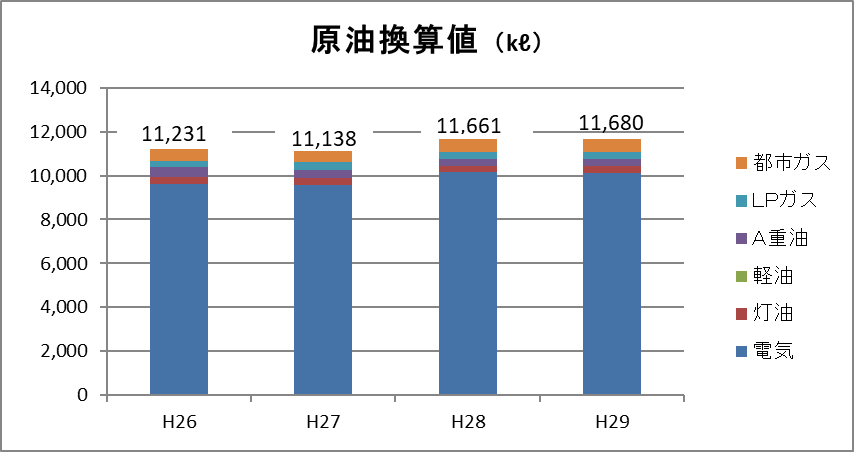


**（ⅱ）資源物**



**③施設エネルギー使用量の削減**

佐賀市清掃工場では、廃棄物焼却発電を行い、この電力の施設内消費以外の余剰分を市の公共施設で活用する「電力の地産地消」に取り組んでいますが、平成27年10月から清掃工場内の灰溶融施設の運転を休止したことにより、清掃工場内の消費電力が減少し他の公共施設への供給が可能となりました。そこで、平成28年度は26の施設、平成29年度は35の施設で電力会社を切り替えたことにより、それらの施設が従前より電力を調達していた電力会社よりも温室効果ガスの排出係数が低減したことによって、温室効果ガスの排出量が平成28年度比で-17％となりました。今後も引き続き、各施設においてエコアクション推進手順書に基づき、省エネに取り組みエネルギー使用の削減に努めます。

****







**④自動車燃料使用量の削減**

ガソリン使用量は、平成28年度より微増しているものの、ほぼ例年通りの使用量となっています。軽油使用量は、猛暑により市営バスのエアコン使用量が増加したことやエンジンが大きい空港リムジンバスの運行距離が伸びたため、増加したと考えられます。バイオディーゼル燃料の使用量は、猛暑により市営バスのエアコン使用量が増加したため、増加したと考えられます。今後も引き続き、エコアクション推進手順書に基づき、エコドライブの実践により自動車燃料の使用削減に努めます。



**⑤グリーン購入の推進**

グリーン購入とは、物品を購入する際や印刷等のサービスを発注する際に、環境に配慮した物品又はサービスを優先的に調達する取り組みです。佐賀市では、森林保全や地球温暖化防止に貢献するコピー用紙「木になる紙」を全部署で購入するなど、積極的に　　　グリーン購入に取り組んでいます。実施率が100％に近づくよう今後もグリーン購入を推進します。



**（３）環境法令の遵守状況**

平成29年度は、市全体で820項目の法的要求事項を特定し、2法令で不備があることが確認されました。未実施事項があった部署には改善の指導を行うとともに、未実施の内容や留意事項等について全庁に文書で通知を行いました。今後も環境管理推進員事務説明会などにおいて、制度の周知徹底に努めます。

**【未実施事項】**

|  |  |
| --- | --- |
| 法　令 | 内容 |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 | 第一種特定製品（業務用空調機器・業務用冷凍冷蔵機器）簡易点検の未実施、機器・点検整備記録簿の未整備  など |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 産業廃棄物としての収集運搬及び処分の適正な処理がされていないなど |

**（４）その他の取り組み**

　　　○エコアクションデーの実施（毎月第2、第4水曜日）

○クールビズ（5月1日～10月31日）、ウォームビズ（12月1日～3月31日）

　　 ○毎週水曜日の朝、職員による本庁舎周辺の清掃活動

**（５）平成29年度 内部環境監査実施結果**

○内部環境監査の目的

・環境マネジメントシステムの取り組みが規定どおりに行われているかの確認

・環境に関する法規制等が理解され、遵守されているかの確認

・職員が環境マネジメントシステムに関する業務を理解しているかの確認

○実施期間：平成29年10月～平成30年1月

○監査チーム：環境政策課職員３名 （４部門で佐賀大学から補助員として参加）

○監査対象及び監査結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 不適合 | 改善の提案 | ストロングポイント |
| 農林水産部 | 5 | 1 | 8 |
| 環境部 | 3 | 1 | 7 |
| 市民生活部 | 1 | 3 | 9 |
| 社会教育部 | 6 | 5 | 6 |
| 諸富支所 | 1 | 1 | 5 |
| 大和支所 | 0 | 1 | 3 |
| 東与賀支所 | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | 17 | 13 | 40 |

|  |
| --- |
| ○監査チームの所見  　　一部で環境法令への理解や記録の管理が不十分な面がありましたが、概ねＰＤＣＡサイクルに基づいた適切な運用を心掛けていると思われます。  多くの部署で省エネに対する熱心な取り組みが見られ、部門全体で取り組まれているといった印象を受けました。今後も継続的改善に取り組んでいただきたいと思います。  不適合については、業務用空調機器の管理などで記録簿の未整備や簡易点検の未実施などが確認されました。いずれも指摘後に法令等の規定に合うように是正処置を実施・検討されており、改善される見通しです。 |

|  |
| --- |
| ○特に指摘が多かった事項  今回の内部環境監査では、業務用空調機器の管理における「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」（平成27年4月改正）の規定に対する不備（簡易点検の未実施、機器・点検整備記録簿の未整備など）が多くの部門で確認されました。  フロン排出抑制法の改正から3年が経過し、この内部環境監査において　全ての部署について確認・指導しておりますので、今後は不適合の件数が減少するものと考えております。 |

|  |
| --- |
| ○補助員の所見  全職員が常に環境を意識し行動されていることが伝わりました。今回の監査で不適合や改善の提案などを各部署に対してしましたが、フロン排出抑制法など新たな法令や気付いていない事項など、意識外や認識不足による漏れがほとんどであるように思います。今後もＰＤＣＡサイクルに基づき継続的改善に取り組んでいただきたいと思います。 |

**【主な指摘事項等】**

**①不適合**

|  |  |
| --- | --- |
| 客観的事実 | 部門 |
| 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」及び環境省令に照らし、不備がある．  ・機器・点検記録簿の未作成  ・点検の未実施　など | 農林水産部  環境部  社会教育部  諸富支所  東与賀支所 |
| 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び環境省令に照らし、不備がある。  ・委託契約書の記載内容の不備 | 農林水産部 |
| 執務室のごみ分別が適正に行われていない。  ・燃えるごみへのプラスチック類の混入  ・個人ごみの混入  ・難古紙の未分別  ・再生可能な紙類のシュレッダー処理　など | 農林水産部  環境部  市民生活部  社会教育部 |
| エコアクションデーにおけるノーカーデーの取り組み状況について、適切な報告がなされていない。 | 農林水産部  社会教育部 |
| 所管施設における油の管理に関して、油類及び薬品等管理手順書に照らし不備がある（緊急事態対応手順書の未更新、定期的な訓練の未実施、管理状況報告書の未提出） | 社会教育部 |

**②改善の提案**

|  |  |
| --- | --- |
| 客観的事実 | 部門 |
| 部門の施策目標及び共通目標について、以下の点に留意し目標を設定されたい。  ・施策目標について、現状では取組計画が数値化されておらず、  施策目標を達成できたかどうかの評価が難しいため、取組計画  はできるだけ数値化した目標を設定されたい。  ・共通目標について、今年度上半期は全ての項目が未達成とな  っている。共通目標の中長期目標や当該年度の活動指標を設定  される際には、削減ポテンシャルなどを分析し、部内の環境管  理推進員で十分な協議を行い、目標を設定されたい。 | 環境部 |
| システムに定めている職員への環境教育について、所管する施設に勤務する嘱託職員への教育が実施されていません。今後、執務室に勤務する職員と同様の環境教育を実施されたい。 | 市民生活部  社会教育部 |
| 東与賀ふれあい館に設置している貯油タンクの管理について、消防法で規定されている危険物取扱者の選任が、前任者の退職により有資格者がおらず、未選任の状態となっている事が確認された。  指定管理者制度導入施設であっても、適用法令については正確に把握するとともに、指定管理者が適切に遵守されていることを定期的に確認される体制を構築されたい。 | 社会教育部 |

**③ストロングポイント**

|  |  |
| --- | --- |
| 客観的事実 | 部門 |
| 水田と農業用水路間の魚類等の移動経路を確保するため、水田魚道を整備し、生物の保全を図っている。 | 農林水産部 |
| 森林保全のため、竹を伐採した市民に対し、竹粉砕機を貸し出すことにより、焼却処分を行わず竹チップとして有効活用が出来るような体制が構築されている。 | 農林水産部 |
| 庁内会議等においてタブレット端末を活用することでペーパーレス化を推進している。 | 環境部 |
| 佐賀市清掃工場で発電した電力を佐賀市立小中校や公共施設等で活用する「電力の地産地消」を推進することで、環境負荷の低減を図っている。 | 環境部 |
| 本庁及び支所の窓口応対の新任者を対象とした研修会について、タブレット端末の利用により支所において受講することができ、支所からの移動による公用車の使用を削減している。 | 市民生活部 |
| 自動車燃料使用量を削減するために、様々な取り組みを行っている。  ・税務署へ行く際には、出来るだけ公用車を使用せず徒歩で行  っている。  ・庁外への外出時は、路線バスを積極的に利用している。 | 市民生活部 |
| 公民館建設時に様々な環境配慮の取り組みを行っている。  ・太陽光発電システムを設置することで、再生可能エネルギーの活用による環境負荷の低減に努めている。  ・太陽光発電システムの発電量をリアルタイムで確認できるモニターを館内に設置することで、利用者への啓発を行っている。  ・公民館を設計する際には、太陽光や自然光を出来るだけ多く取り入れることが出来るよう工夫されている。  ・柱や床、壁など内外装の木材に地場産木材を積極的に使用している。  ・LED照明を積極的に導入している。  ・雨水を貯留するタンクを設置し散水に活用している。 | 社会教育部 |
| 所管施設において、照明の間引きや省エネ機器への切り替え、緑のカーテンの取り組みなどを行い、エネルギーの効率的な利用に努めている。また、施設を利用する市民に対しても、省エネやごみの持ち帰りを徹底するようにお願いしており、施設の環境負荷低減と市民の環境意識の向上が図られている。 | 社会教育部 |
| 不要になった飲料用ペットボトルキャップを回収し、地域の小学校に提供することで、支援団体を通して、貧困に苦しむ世界の子どもたちに役立てられている。 | 諸富支所 |
| 月２回始業前にグループ持ち回りで庁舎とその周辺の清掃活動を行っている。 | 諸富支所 |
| 農業の現地確認において、必要な資料をデータ化しＩPadに保存して持ち運ぶことにより、ペーパーレスを推進している。 | 大和支所 |
| 不要な新聞紙を松梅地区活性化施設（そよかぜ館）に提供し、職場から排出するごみ等の減量に取り組んでいる。  そよかぜ館では青果の包装などに利用されている。 | 大和支所 |
| 支所庁舎及び保健センターの電気使用量を削減するため、デマンド監視装置を設置して電気使用状況を一体的に把握し、使用量が増加している場合は更なる節電に取り組んでいる。  また、業務に支障の無い範囲において、電灯の間引きに取り組んでいる。 | 東与賀支所 |
| 排水機場における水位等の把握や、本庁で開催される窓口業務新任研修等において、タブレット端末を活用することで、移動時の自動車使用の抑制に寄与している。 | 東与賀支所 |

**２．平成３０年度の運用状況と今後の予定**

　機構改革等に伴う環境マネジメントシステムの改定を行い、例年どおりのスケジュールで環境マネジメントシステムを運用しています。本年度も施策目標及び共通目標のもと市役所自身の環境負荷の低減のために取り組みを進めています。

＜施策目標＞

　　佐賀市環境基本計画に掲げる施策に対する目標

＜共通目標＞

①コピー用紙購入量の削減

②職場排出物の抑制

③施設エネルギー使用量の削減

④自動車燃料使用量の削減

⑤グリーン購入の推進

今回の環境審議会においていただいたご意見を佐賀市環境管理委員会に報告し、今後の運用の参考とさせていただきます。